2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月30日

上 場 会 社 名　　日本ケミファ株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4539　　URL http://www.chemiphar.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山口　一城
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員管理部長　（氏名）中島　慎司　TEL 03-3863-1211

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	15,821	△0.7	△696	―	△684	―	△512	―
2026年３月期中間期	15,932	2.0	122	60.6	48	―	163	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△439百万円（　―%）　2026年３月期中間期　△50百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△141.57	―
2026年３月期中間期	45.27	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	48,801	18,884	38.7	5,213.44
2026年３月期	49,978	19,510	39.0	5,382.52

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　18,884百万円　2026年３月期　19,510百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	50.00	50.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	5.8	250	39.0	100	△56.1	60	△69.7	16.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	4,261,420株	2026年３月期	4,261,420株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	639,174株	2026年３月期	636,664株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	3,623,447株	2026年３月期中間期	3,607,908株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（第２四半期（中間期）決算補足説明資料の入手方法）

第２四半期（中間期）決算補足説明資料は、第２四半期（中間期）決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（５）重要な後発事象 …… 10

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移するとともに、堅調な企業収益を背景として設備投資も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、自然災害や地政学的リスクの高まりなどを受け、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

医薬品業界においては、実質毎年の薬価改定が続く過酷な収益環境の一方で、ジェネリック医薬品と長期収載品の価格差に対する患者負担割合の追加引き上げや、今後収載されるオーソライズド・ジェネリックの薬価上の位置付け変更など、ジェネリック医薬品のさらなる需要拡大につながる制度改正も実施されました。

このような環境下、当社グループでは、医療用医薬品のさらなる安定供給確保のための製造体制強化・効率化の取り組みを引き続き推進するとともに、9月にはアレルギースクリーニング機器・試薬「ドロップスクリーン」の新製品である測定機器「A-2」及び試薬「KR-1」を発売しました。

（医薬品事業）

医療用医薬品のうち、ジェネリック医薬品は、近年発売品の寄与があったものの、薬価改定の影響が大きく、売上高は11,642百万円（前年同期比2.6%減）となりました。また、新薬・長期収載品の売上高については、一部製品の導出・輸出売上の拡大により、721百万円（前年同期比62.0%増）となり、ジェネリック医薬品と新薬・長期収載品を合わせた医療用医薬品合計での売上高は12,363百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

アレルギースクリーニング機器・試薬「ドロップスクリーン」は、患者さんや医療機関からの高評価を背景に国内累計設置台数は9月末時点で1,900台を超えましたが、前期末に卸への販売が先行した反動があったことや、8月に新製品の認証取得を公表した後、従来品の新規購入が一時的に鈍化したことなどが影響し、臨床検査薬の売上高は2,345百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

以上の結果、製造受託なども含めた医薬品事業全体の売上高は15,224百万円（前年同期比0.8%減）、利益面では、円安の進行などによるエネルギーおよび原材料のコストアップ、人件費の増加による原価率の上昇に加えて、新製品や新薬に係る研究開発費の増加もあり、営業損失が687百万円（前年同期は営業利益125百万円）となっております。

（その他）

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業については、売上高が596百万円（前年同期比3.3%増）、営業損失が９百万円（前年同期は営業損失３百万円）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は15,821百万円（前年同期比0.7%減）、営業損失が696百万円（前年同期は営業利益122百万円）、経常損失は684百万円（前年同期は経常利益48百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は512百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益163百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

１）資産

流動資産は前期末に比べて1,274百万円減少し、28,667百万円となりました。これは、主に棚卸資産が増加した一方、売上債権、現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は前期末に比べて96百万円増加し、20,134百万円となりました。これは、主に繰延税金資産の増加によるものであります。

この結果、総資産は前期末に比べて1,177百万円減少し、48,801百万円となりました。

２）負債

流動負債は前期末に比べて1,817百万円減少し、10,879百万円となりました。これは、主に電子記録債務の減少によるものであります。

固定負債は前期末に比べて1,265百万円増加し、19,038百万円となりました。これは、主に長期借入金及び長期預り金の増加によるものであります。

この結果、負債合計は前期末に比べて551百万円減少し、29,917百万円となりました。

３）純資産

純資産合計は前期末に比べて625百万円減少し、18,884百万円となりました。これは、主に配当金の支払い及び親会社株主に帰属する中間純損失の計上によるものであります。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、営業活動により1,149百万円減少いたしました。また投資活動においては579百万円の減少、財務活動においては679百万円の増加となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は4,276百万円（前年同期比52.4％減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、営業活動による資金は、売上債権及び契約資産の減少などがあったものの、仕入債務の減少及び棚卸資産の増加などにより、1,149百万円の減少（前年同期は2,165百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、投資活動による資金は、有形固定資産の取得などにより、579百万円の減少（前年同期は151百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、財務活動による資金は、長期借入金の返済や配当金の支払などがあったものの、長期借入金の調達などにより、679百万円の増加（前年同期は１百万円の増加）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、2026年５月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,342	4,286
受取手形、売掛金及び契約資産	8,179	6,360
電子記録債権	3,235	3,347
商品及び製品	7,035	7,523
仕掛品	2,003	2,505
原材料及び貯蔵品	3,854	3,975
未収還付法人税等	7	5
その他	282	664
流動資産合計	29,941	28,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,043	6,767
機械装置及び運搬具（純額）	1,286	1,112
工具、器具及び備品（純額）	622	590
土地	4,414	4,413
リース資産（純額）	913	865
建設仮勘定	―	23
有形固定資産合計	14,279	13,773
無形固定資産		
特許権	12	11
商標権	33	29
販売権	218	206
リース資産	110	96
ソフトウエア	10	12
ソフトウエア仮勘定	103	160
電話加入権	9	9
無形固定資産合計	499	526
投資その他の資産		
投資有価証券	2,071	2,226
長期前払費用	720	868
退職給付に係る資産	1,918	2,021
敷金及び保証金	47	44
繰延税金資産	131	303
その他	455	427
貸倒引当金	△86	△59
投資その他の資産合計	5,258	5,833
固定資産合計	20,037	20,134
資産合計	49,978	48,801

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,868	1,810
電子記録債務	3,992	2,560
短期借入金	174	258
1年内返済予定の長期借入金	2,971	2,911
リース債務	206	209
未払金	312	75
未払法人税等	96	99
未払消費税等	74	6
未払費用	1,759	1,675
預り金	159	166
返金負債	556	525
その他	525	580
流動負債合計	12,696	10,879
固定負債		
長期借入金	12,297	13,244
リース債務	936	867
役員退職慰労引当金	476	489
退職給付に係る負債	132	135
再評価に係る繰延税金負債	898	898
長期預り金	3,026	3,399
その他	4	3
固定負債合計	17,772	19,038
負債合計	30,468	29,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,228	1,228
利益剰余金	13,495	12,798
自己株式	△3,076	△3,080
株主資本合計	15,952	15,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	791	905
土地再評価差額金	1,951	1,952
為替換算調整勘定	170	143
退職給付に係る調整累計額	644	631
その他の包括利益累計額合計	3,558	3,633
純資産合計	19,510	18,884
負債純資産合計	49,978	48,801

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	15,932	15,821
売上原価	11,783	12,205
売上総利益	4,148	3,616
販売費及び一般管理費	4,025	4,312
営業利益又は営業損失（△）	122	△696
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	25	18
固定資産賃貸料	3	3
持分法による投資利益	11	11
保険配当金	1	1
補助金収入	32	140
その他	7	14
営業外収益合計	87	196
営業外費用		
支払利息	112	124
為替差損	36	42
支払手数料	5	5
その他	8	11
営業外費用合計	161	183
経常利益又は経常損失（△）	48	△684
特別利益		
投資有価証券売却益	157	－
特別利益合計	157	－
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	205	△684
法人税、住民税及び事業税	61	47
法人税等調整額	△18	△218
法人税等合計	42	△171
中間純利益又は中間純損失（△）	163	△512
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	163	△512

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	163	△512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	111
為替換算調整勘定	△183	△27
退職給付に係る調整額	△13	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	－	2
その他の包括利益合計	△214	73
中間包括利益	△50	△439
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△50	△439
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	205	△684
減価償却費	746	791
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	△27
返金負債の増減額（△は減少）	△12	△30
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△36	13
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	0	2
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△105	△121
受取利息及び受取配当金	△31	△24
支払利息	112	124
為替差損益（△は益）	36	42
投資有価証券売却損益（△は益）	△157	△0
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	1,255	1,698
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,829	△1,126
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△222	△342
長期前払費用の増減額（△は増加）	△81	△153
仕入債務の増減額（△は減少）	1,379	△1,479
未払消費税等の増減額（△は減少）	66	△64
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△50	12
長期預り金の増減額（△は減少）	571	372
その他の固定負債の増減額（△は減少）	229	△0
その他	202	△35
小計	2,279	△1,034
利息及び配当金の受取額	42	36
利息の支払額	△110	△123
法人税等の支払額	△61	△36
法人税等の還付額	16	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,165	△1,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
有形固定資産の取得による支出	△347	△540
無形固定資産の取得による支出	△1	△56
投資有価証券の売却による収入	205	8
差入保証金の回収による収入	2	1
その他	△0	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151	△579
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	84	84
長期借入れによる収入	1,850	2,550
長期借入金の返済による支出	△1,650	△1,662
配当金の支払額	△182	△180
その他	△100	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	1	679
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△16
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,969	△1,066
現金及び現金同等物の期首残高	7,021	5,342
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,991	4,276

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額
	医薬品事業				
売上高					
医療用医薬品	12,894	―	12,894	―	12,894
臨床検査薬	2,414	―	2,414	―	2,414
その他	―	577	577	―	577
顧客との契約から生じる収益	15,308	577	15,885	―	15,885
その他の収益	46	0	47	―	47
外部顧客に対する売上高	15,354	577	15,932	―	15,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	11	11	△11	―
計	15,354	588	15,943	△11	15,932
セグメント利益又は損失（△）	125	△3	122	―	122

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額
	医薬品事業				
売上高					
医療用医薬品	12,879	―	12,879	―	12,879
臨床検査薬	2,298	―	2,298	―	2,298
その他	―	596	596	―	596
顧客との契約から生じる収益	15,177	596	15,773	―	15,773
その他の収益	46	0	47	―	47
外部顧客に対する売上高	15,224	596	15,821	―	15,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	73	73	△73	―
計	15,224	670	15,894	△73	15,821
セグメント損失（△）	△687	△9	△696	―	△696

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

（５）重要な後発事象

該当事項はありません。